2024年度事業報告書

自　2024年4月　1日
至　2025年3月　31日

【JAS関係】

1. **認証，調査**

飲食料品JASの食用加工油脂ではJAS認証工場数は35工場であり、全て現地調査を実施済である。JAS認証については1工場を新規認証し、2工場が認証廃止をしたため、3月末時点のJAS認証工場数は34工場である。有機加工食品のJAS認証（生産行程管理者）は4工場、および有機JAS輸入業者1工場についても定期調査済である。なお、有機加工食品（生産行程管理者）1工場が3月に認証廃止をしたため、3月末時点の有機JAS認証は4工場となる。廃食用油のリサイクル工程管理JASは2事業所について新規認証し、1事業所について実地調査を終え、判定待ちの状況である。また、無通告調査については、2024度は実施しなかった。

なお、FAMICによるJAS認証業務に関する定期立入調査を2024年12月に大阪検査所、2025年2月に東京本部について受審し、指摘はなく認証が維持された。

2. **格付等の検査(2024年4月～2025年3月)**

JAS格付のための依頼検査数量および前年対比、安全性に係わる検査件数および対計画進捗率は**表ⅰ、表ⅱ**に示すとおりである。

表ⅰ．**格付検査数量および前年対比（%）**

品　目	検査数量 (t)	前年対比 (%)	品　目	検査数量 (t)	前年対比 (%)
マーガリン類			**精製ラード**		
家庭用	4,186	58.2	純 製	28,257	102.5
業務用	68,682	98.6	調 製	22,625	101.6
ファットスプレッド	29,536	97.1	小　計	50,882	102.1
小　計	102,404	95.5	**食用精製加工油脂**		
ショートニング			食用硬化油	13,688	88.2
ガス有り	54,360	100.5	分別油	24,296	107.7
ガスなし	93,169	99.1	エステル交換油	7,717	78.3
小　計	147,529	99.6	小　計	45,701	95.3
			総　合　計	**346,516**	**98.1**

※前年対比は、2023年度検査数量を100%として計算した。

表ⅱ. JAS 安全性チェック及び乳脂肪含有率の検査数量および年度計画に対する進捗率（%）

	認証機関の抜取	工場からの依頼	計（検体数）	年度当初計画数	進捗率(%)
熱媒体	765	151	916	1,000	91.6
デヒドロ酢酸	516	95	611	690	88.5
BHA	765	157	922	1,000	92.2
計	2,046	403	2,449	2,690	91.0
乳脂肪含有率			782	740	105.7

※進捗率は、年度当初計画を 100%として計算した。

※乳脂肪含有率検査は、乳脂肪が含まれるマーガリン及びファットスプレッドを対象とする。

3. 手合わせ試験

手合せ試験は、2024 年度で 13 回目の事業であり、例年通り 9～10 月に実施した。試験項目は過酸化物価、酸価、よう素価および融点である。参加機関数は試験項目によって異なり、過酸化物価：41(42)機関、酸価：40(42)機関、よう素価：35(36)機関、融点：34(36)機関（かっこ内は昨年度実績）である。個々の工場の結果については個別に報告するとともに、参加機関全体の結果概要について、2 月 18 日に開催した品質管理及び格付担当者会議でも報告を行った。

手合わせ試験の趣旨の理解が進み、外部精度管理の一環として活用する機関が増えている。

4. 品質管理及び格付担当者への情報提供及び専門講習会

例年年 2 回、6 月と 2 月に品質管理及び格付担当者を対象にした JAS 業務に関わる情報提供を実施しており、今年度も 2024 年 6 月 18 日と 2025 年 2 月 18 日に Zoom のミーティングルーム機能を利用して実施した。6 月は、「2023 年度の格付事業報告」、「2023 年度工場調査結果について」、「2024 年度の事業計画」、「油脂分析手合わせ試験のお知らせ」などに加えて、トピックスとして「食品の安全性」について講演した。2 月は、「2024 年格付数量並びに前年対比」、「日本農林規格の一部改正の告示について」、「油脂分析手合わせ試験の結果報告」に加えて、トピックスとして「最近の市販植物油に含まれるトランス脂肪酸の実態調査」について概説した。

また、JAS認証工場の品質管理及び格付担当者になるための「専門講習会」は昨年度と同様に講義はYouTubeによる動画視聴、内部監査ロールプレイはZoomのミーティング機能によるWeb会議方式で2024年11月初旬に開催した。有機JAS専門講習会はYouTubeによる動画視聴、Zoomのミーティング機能によるWeb会議方式で2024年8月初旬に開催した。廃食用油のリサイクル工程管理JAS専門講習会は、ご要望に応じて集合形式またはYouTubeによる動画視聴、Zoomのミーティング機能によるWeb会議方式で2024年6月、10月、11月に合計3回開催した。

5. 食用加工油脂 JAS の見直しへの対応

マーガリン類、ショートニング、精製ラード、食用精製加工油脂の JAS については、関係事業団体等（日本マーガリン工業会）が主体となって、当検査協会、FAMIC が協力し、また FAMIC の支援を受け定期見直しを実施した。見直し状況について 2023 年 11 月 28 日 JAS 調査会に於いて審議され、承

認された。2024 年 10 月 18 日に告示が出され、主な変更点は、食用精製加工油脂の融点表示を、整数値1点表示から○○℃～△△℃といった幅表示も認めるとされた点である。表示の変更については、施行日から1年間の猶予期間を設けることとなっている。

6. JAS 品質規格・見直し検討会について

今年度は日本マーガリン工業会からの委託事業（103 万円）として「JAS 品質規格・見直し検討会」を立ち上げた。第 1 回検討会を 2024 年 12 月 17 日、第 2 回検討会を 2025 年 2 月 28 日に開催した。本事業は、次年度以降も継続して行い、合計 4 回の検討会を経て、食用加工油脂業界として JAS 規格の見直しと今後の方向性について検討している。この検討会を立ち上げた背景には、別紙「JAS 検査数量と事業収益の推移（2013 年度～2024 年度）」の通り、JAS 格付数量が減少を続けていることにある。2013 年度に JAS 検査手数料を値上げしたことで収益は一時的に持ち直したものの、JAS 検査数量の減少傾向は変わらず、2013 年度から 2024 年度までの 12 年間で JAS 格付数量は 2013 年度と比較して約 32%減少し、JAS 検査手数料は 37,395 千円減収している。

JAS 品質規格・見直し検討会で議論する中で、現時点での意見のまとめは次の通りである。

(1)現行の品質（JAS）規格について

食用加工油脂における現行の４つの品質（JAS）規格については、厳しい評価は多いものの、既存の油脂製品の特長（部分水素添加油脂の特長を含めて）を創造し、当該規格が取引基準として一定程度機能しているものと考えられる。よって、現行の品質（JAS）規格について、その仕組みを維持すべきと考えられるが、認証事業者にとってのメリットは低下しており、国による JAS 制度そのものの認知度の向上に向けた取り組みや日本マーガリン工業会を中心とした JAS 規格による食用加工油脂の PR 活動等の実施が必要と考えられる。

一方で、5 年ごとの品質（JAS）規格の見直しについては、食用加工油脂業界にとって、より利用しやすい規格への見直しを行うという観点で、原材料、食品添加物、水分値及び試験方法の簡素化等について、費用対効果を考慮しつつ、必要最小限の見直しにとどめるべきと考える。

(2)将来の規格について

新たな規格、仕組みについては、既存の品質（JAS）規格を念頭に、これに製品の流通上の付加価値等を加える規格を前提に、任意の仕組みとして検討する。

具体的には、他の品目での検討内容を参考に、我が国の食用加工油脂業界として、これまでの食品安全（危害物質等）への対応の中で培った技術力、環境、人権、サスティナビリティ等の観点での取り組み等を活かした仕組みとして考える。

この規格は、製品流通上のメリット、消費者への訴求、国際的な認知等において、新たな付加価値をさせ、停滞している国内での食用加工油脂生産量の需要増加を促進すること、現在、消費者等に広がるマーガリンに対するネガティブイメージにも対応（表示名称の変更）するものとして、検討が必要である。

【HACCP 関係】

1. 自主基準に基づく承認

業界の自主基準に基づく HACCP 実施状況の定期審査は、年度計画に沿って 4 工場のうち 3 工場について、審査を行い承認した。1 工場は承認を返上した。

2. その他（食品安全マネジメント規格（JFS）の監査会社としての取り組み）

今年度は 2 事業者について、JFS-B 規格での適合認証を実施した。

【受託検査関係】

1. 受託検査

受託状況を受託検査手数料で示すと、2024 年度は 4 月～2025 年 3 月において 71,243 千円となり、前年同期対比(62,501 千円)が 114.0%と増収となっている。JAS 認証工場以外からの収入は前年同期比 10,154 千円増収（前期比 127.7%）である一方、JAS 認証工場関連からの収入が 1,412 千円の減収（前期比 94.5%）となり、合計で 8,742 千円の増収となった。2023 年 11 月 1 日より、一部検査料の見直し（若干の値上げ）を実施した。

2. 委託事業

2024 年度、当検査協会が受託した主な委託事業は以下のとおりである。本年度、農林水産省による入札事業 1 件に応札したが、最低入札価格を下回らなかったことから、入札は終了となった。

① 2024年度委託研究（日本マーガリン工業会）（816千円）

テーマ：「日本食品標準成分表（八訂）における動物油脂のエネルギー値検証」

内容：従来（七訂以前），油脂のエネルギーは，係数（植物油脂9.21 kcal，動物脂9.41 kcal，「日本食品標準成分表の改訂に関する調査」（科学技術庁資源調査会編資料））を用いて算出されていた。八訂では，油脂種ごとの各脂肪酸の量から求めたトリアシルグリセロール当量の脂質に対して，係数（9 kcal）を用いて算出することになったが、八訂において，七訂よりも油脂はエネルギー値が小さくなる傾向が見られるので検討を行った。

② 2024 年度助成研究（全日本マーガリン協会）（718 千円）

テーマ：「油脂中のグリシドール脂肪酸エステル分析方法の検証と市販油脂食品の調査（第 11 報）」

内容：昨年度に引き続き、食用精製加工油脂食品のうち、水素添加油脂等の高融点の油脂を対象とし、日本油化学会基準油脂分析試験法 2.4.14-2016「2/3-MCPD 脂肪酸エステル、グリシドール脂肪酸エステル（間接分析-酵素法）」を改良した試験方法の検討を行った。

【その他】

1. 学会発表等

① 日本油化学会年会で発表

2024 年 9 月 3 日～5 日に山形で開催された日本油化学会第 62 回年会にて、以下の発表を行った。

演題:「日本のマーガリン類及びショートニングのトランス脂肪酸含有量の推移」

当検査協会の飯田がポスター発表した。

演題:「ヘリウム代替ガスによる脂肪酸組成分析法合同評価試験」

当検査協会も参加した共同研究に飯田の連名で福島大学の吉永先生が口頭発表した。

② Journal of Oleo Science に論文掲載

JOS 2025 年 4 月号に掲載された。

表題:「Transition of Trans Fatty Acid Contents of Margarines, Fat Spreads and Shortenings in Japan」

最近の食用植物油に含まれるトランス脂肪酸の現状把握を目的として，市販植物油中のトランス脂肪酸の含有量と組成を明らかにし，主に植物油から造られるマーガリン及びファットスプレッドを比較した。

当検査協会の飯田による投稿。

表題:「Analysis of Fatty Acid Composition by Gas Chromatography Using Hydrogen or Nitrogen as an Alternative Carrier Gas to Helium: a JOCS Collaborative Study」

当検査協会も参加した「ヘリウム代替ガスでの脂肪酸合同実験」について福島大学の吉永先生による投稿。

J-STAGE にてオープンアクセスとなっている。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jos/-char/en

2. 食脂検時報の発行

当検査協会の情報誌である「食脂検時報」を 2025 年 3 月末で年初計画の通り 6 回発行した。統計資料、行政、国内、海外情報、学術論文の紹介等食用油脂に関する有益な情報を掲載し、認証工場、行政機関、関連団体に配布し情報提供に努めた。

3. 設備投資の状況

2024 年度の設備投資については、以下のとおり実施した。

① 精密天秤 1 台(160 千円):老朽化による更新

② 分光蛍光光度計(2,162 千円):老朽化による更新

③ フーリエ変換赤外吸光高度計(1,298 千円):老朽化による更新

④　パソコン 7 台(2,145 千円):耐用年数超過による買い替え

⑤　パソコン 5 台(1,529 千円):耐用年数超過による買い替え

4.　ISO17025 認定関連

2024 年度は ISO17025 の認定の拡大・縮小はなかった。2024 年 4 月 23 日～25 日に ISO17025 認定機関のペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク(PJLA)よるオフサイトサーベランス審査を受審し、認定を維持している。現在取得している項目は、①食品・農産物・油脂・食品添加物の栄養成分分析(水分)、②食品・農産物・油脂・食品添加物の栄養成分分析(脂質)、③油脂の酸価試験、油脂の過酸化物価試験、④油脂の総トランス脂肪酸含量の定量試験、⑤植物油脂、動物油脂の 2-/3-MCPD-脂肪酸エステル、グリシドール脂肪酸エステルの定量試験である。

以上